

統計に見る G20 と韓国（要約）

2010年11月5日 韓国統計庁

ジェトロ ソウル・センター 仮訳

※ 原資料にある一部図表の翻訳を割愛しています。

1人当たり名目 GDP (PPP) は 2万7,938 ドルで G20 平均(2万3,165 ドル)より高い

○2009年韓国の1人当たり名目 GDP は1万7,074 ドルで、購買力平価で換算すれば2万7,938 ドルと新興国(12カ国)の中でオーストラリア(3万8,663 ドル)に続き二番目である。

*1人当たり名目 GDP (PPP) :2000年1万6,495 ドル、2005年2万2,783 ドル、2009年2万7,938 ドル

※購買力平価(purchasing power parity)とは、一つの国の貨幣がどこの国でも同じ購買力を持つように各国の物価水準を反映した為替レートである。

-韓国の2009年名目 GDP は8,325 億ドルだが、購買力評価為替レートで評価すれば63.6%増加して1兆3,622 億ドルである。

-購買力平価による名目 GDP が市場為替レートで評価した名目 GDP より大きいということは、韓国の物価水準が相対的に低いことを意味する。

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
名目 GDP(億ドル)	2009	8,325	22,572	44,023
名目 GDP PPP(億ドル)	2009	13,622	26,343	40,455
1人当たり名目 GDP(ドル)	2009 ¹⁾	17,074	22,728	39,896
1人当たり名目 GDP PPP(ドル)	2009 ¹⁾	27,938	23,165	35,388

注1) アルゼンチン、インドネシア、イタリア、日本、韓国、南アフリカ共和国、英国は予測資料である

注2) PPP は購買力平価による指標

1人当たり名目 GDP (PPP) の年平均成長率は 6.60%と G20 で第3位

○1992~2009年の1人当たり名目 GDP の年平均成長率は4.77%だが、購買力平価で換算すれば6.60%とG20平均の4.38%よりも高い。

-韓国の1人当たり名目 GDP の年平均成長率はG20で第8位だが、購買力平価による年平均成長率は中国(11.7%)、インド(7.1%)に続き3位である。

指標	年	韓国			G20	G7
		年平均成長率	順位 1)	年平均成長率 2)	年平均成長率 2)	
1人当たり名目 GDP(ドル)	1992-2009	17,074	4.77	8	5.14	3.12
1人当たり名目 GDP PPP(ドル)	1992-2009	27,938	6.60	3	4.38	3.34

注 1) G20 を対象にした順位である。

注 2) G20(G7)年平均成長率は G20(G7)の年平均成長率の平均である。

小売販売額指数と消費者信頼指数は G20 で高い水準

○消費者信頼指数が高い国は売販売額指数も高い。

- 2010年7月小売販売額指数は G20 平均(114.8)と G7 平均(105.5)より高い 122.8 である。

- 2010年7月の消費者信頼指数は 106.5 で、G20 のうちブラジル次ぐ高さ

※消費者信頼指数は現在と6ヵ月後の地域経済状況、雇用状態、家計収入などに対する展望を調査して、100 を越えれば消費者が景気を楽観するという意味である。

指標	年月	韓国	G20 平均	G7 平均
小売販売額指数	2010. 7	122.8	114.8 (13 カ国)	105.5 (7 カ国)
消費者信頼指数	2010. 7 ²⁾	106.5	100.7 (15 カ国)	99.2 (7 カ国)

注 1) 小売販売額指数は 2005 年=100 で、消費者信頼指数は季節調整指数で normal=100 である。

注 2) 日本は 2010 年 6 月、中国は 2010 年 5 月

失業率と雇用率が低く、自営業者比率は高い

○2009 年韓国の失業率は 3.6%と G20 で最も低い。

- 反面、2008 年の雇用率は 63.8%(2009 年 58.6%)と G20 平均の 66.0%より低い。

- カナダ(73.7%)の雇用率が最も高く、最も低いのはトルコ(44.9%)

○2008 年の自営業者比率は 1.482 倍(2009 年 1.429 倍)で G20 平均(1.222 倍)より大きい。

※自営業者比率(self-employment ratio)は、雇用者数(被雇用者数と自営業者数の合計)を被雇用者数で割ったものであり、1 より大きく 1 に近いほど自営業者数が少ないということを意味する。

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
失業率 (%)	2009	3.6	8.5 (18 カ国)	7.9 (7 カ国)
雇用率 (%)	2008	63.8	66.0 (14 カ国)	68.8 (7 カ国)
自営業者比率 (倍)	2008 ¹⁾	1.482	1.222 (11 カ国)	1.179 (7 カ国)

注1) オーストラリアは 2006 年

※ 2009 年韓国の雇用率と自営業者比率は 58.6%(統計庁)、1.429 倍(統計庁 賃金勤労者+非賃金勤労者/賃金勤労者)

総貯蓄率は G20 平均より高いが家計貯蓄率は低い

○名目 GDP に対する総貯蓄の比率は 2008 年 30.9%(2009 年 30.1%)で、G20 平均(22.3%)および G7 平均(20.1%)より高い。

-反面 2009 年の家計貯蓄率は 3.6%で G20 平均(7.7%)より低い。

○韓国は家計貯蓄率と総貯蓄率減少したが、家計貯蓄率の減少幅がより大きい

* 総貯蓄率:32.9%(2000) → 30.1%(2009) (-2.8%p)、家計貯蓄率:9.3%(2000) → 3.6%(2009) (-5.7%p)

-家計貯蓄率が減少した理由は、金利低下および不動産価格急騰に伴う家計への貸出し増加、雇用条件悪化による実質所得減少などが複合的に作用。

○消費者物価指数、生産者物価指数、GDP デフレーターは G20 平均より低く、G7 平均より高い。

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
総貯蓄率 (%) 1)	2008 ⁴⁾	30.9	22.3 (11 カ国)	20.1 (7 カ国)
家計貯蓄率 (%) 1) 2)	2009	3.6	7.7 (10 カ国)	7.8 (7 カ国)
消費者物価指数 3)	2009	113.2	119.5 (20 カ国)	107.0 (7 カ国)
生産者物価指数 3)	2009	110.9	121.4 (18 カ国)	107.5 (7 カ国)
GDP デフレーター 3)	2009	108.4	122.3 (20 カ国)	106.8 (7 カ国)

注1) 総貯蓄率は名目 GDP に対する総貯蓄の比率、家計貯蓄率は可処分所得と貯蓄額の比率である。

注2) フランスと英国は総家計貯蓄率、残りの国は純家計貯蓄率である。

注3) 消費者および生産者物価指数、GDP デフレーターは 2005 年=100

注4) 日本は 2007 年

※ 2009 年韓国の総貯蓄率は 30.1%(韓国銀行)

GDP 比の貿易規模が大きく、経常収支も黒字

○2009 年 GDP 比輸出と輸入は 43.4%、38.8%で貿易依存度が高く、G20 の平均輸出、輸入比率(22.6%、20.7%)より高い。

○2009 年 GDP 比経常収支は 5.1%の黒字

※経常収支は資本取引を除いた商品およびサービスと所得収支で構成

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
輸出比率 (FOB, %)	2009 ¹⁾	43.4	22.6 (19 カ国)	18.4 (7 カ国)
輸入比率 (CIF, %)	2009	38.8	20.7 (18 カ国)	19.6 (7 カ国)
経常収支比率 (%)	2009 ¹⁾	5.1	0.4 (20 カ国)	-0.4 (7 カ国)

注1) 輸出比率でサウジアラビアは 2008 年、経常収支比率でオーストラリア、ベルギー、ロシアは 2008 年

注2) 輸出比率と輸入比率、経常収支比率は GDP 比である。

対外投資と対内投資規模は小さい

○2009 年韓国の対外投資は 6,048 億ドルで、対内投資(外国人投資)は 7,528 億ドルで G20 平均に比べて低い水準である。

-対外直接投資と対内直接投資は 1,156 億ドルおよび 1,108 億ドルで G20 平均より低い水準である。

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
対外投資(億ドル)	2009 ¹⁾	6,048	35,788 (18 カ国)	81,150 (7 カ国)
対外直接投資(億ドル)	2009	1,156	6,506 (20 カ国)	15,627 (7 カ国)
対内投資(億ドル)	2009 ¹⁾	7,528	35,845 (18 カ国)	81,024 (7 カ国)
対内直接投資(億ドル)	2009	1,108	5,286 (20 カ国)	10,285 (7 カ国)

注1) 対外投資、対内投資でオーストラリア、インド、南アフリカ共和国は 2008 年

注2) 対外投資、対内投資は国際投資対照表統計から

財政収支が良好で政府債務も少ない

○2008年の財政収支のGDP比は3.3%(2009年-1.7%)でG7平均(-2.9%)より非常に良好

- 2008年政府債務比率はG7平均(89.7%)より非常に低い26.8%(2009年32.0%)

○対外債務は2010年第1四半期に4,098億ドルとG7とベルギー、オーストラリア、ロシアより低い・

-GDP比で短期対外債務比率は15.3%でG20平均(37.1%)の半分

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
財政収支比率 1) (%)	2008	3.3	-2.2 (12 カ国)	-2.9 (7 カ国)
政府債務比率 1) (%)	2008	26.8	76.2 (10 カ国)	89.7 (7 カ国)
対外債務(億ドル)	2010. 1/4 ²⁾	4,098	24,012 (18 カ国)	15,627 (7 カ国)
短期対外債務比率 1) (%)	2009. 4/4 ³⁾	15.3	37.1 (16 カ国)	73.9 (7 カ国)

注 1) 財政収支比率、政府債務比率および短期対外債務比率は GDP に対する比率

注 2) ベルギーは 2009 年第 4 四半期

注 3) 短期対外債務は満期が 1 年以内の対外債務

※ 2009 年韓国の財政収支比率と政府債務比率は、-1.7%、32.0%である(韓国銀行)

○韓国とともに財政収支が良好で政府債務が少ない国で財政黒字を記録したのはドイツ、カナダ、オーストラリアである。

韓国は G20 で合計特殊出生率と人口増加率は最低水準

○韓国の人口増加率は 2008 年 0.31%(2010 年 0.26%)で G7 平均(0.53%)より低い

-これは 2007 年で合計特殊出生率が 1.26 とで G7 平均(1.66)より非常に低い
ためである。

-合計特殊出生率は 1980 年代以後、減少傾向を見せているが、G7 では 1980
年代以後大きな変化なく 1.5 以上を維持している。

* 合計特殊出生率(韓国):1980 年 2.83→ 1990 年 1.59→ 2007 年 1.26(2009
人 1.15 人)

* 合計特殊出生率率(G7 平均):1980 年 1.75→ 1990 年 1.68→ 2007 年 1.66

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
人口増加率(%)	2008	0.31	0.86	0.53
合計特殊出生率	2007	1.26	1.95	1.66

注) 韓国の人口増加率は 2009 年 0.29%、2010 年 0.26%、合計特殊出生率は 2008 年 1.19、2009 年 1.15(統計庁)

個人別教育水準で高等教育履修率と学業達成度は最上位圏

○教育水準で高等教育履修率と学業達成度指標を見ると、韓国は G7 平均より高い数値

-高等教育履修率は 2007 年 34.6%と 1999 年(23.1%)以後、年平均 5.2%増加

※高等教育履修率:25-65 歳人口のうち高等教育(大学)を履修した人の比率

-学業達成度指標のうち数学と読取りは最も高い水準

* 学業達成度-数学:韓国(547 点)、カナダ(527 点)、日本(523 点)、オーストラリア/ベルギー(520 点)

* 学業達成度-読取り:韓国(556 点)、カナダ(527 点)、オーストラリア(513 点)、ベルギー(501 点)

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
高等教育履修率(%)	2007	34.6	27.8 (13 カ国)	32.3 (7 カ国)
学業達成度-数学(点)	2006	547.0	469.8 (16 カ国)	497.3 (7 カ国)
学業達成度-読取り(点)	2006	556.0	466.6 (15 カ国)	495.3 (6 カ国)

韓国は G20 平均より平均余命は高く、粗死亡率も低くて健康状態は良好

○韓国の平均余命は 2007 年 79.0 歳で G20 平均(74.8 歳)よりは高いが、G7 平均(80.3 歳)より若干低い。

-平均余命の場合、1980 年(65.8 歳)以後、他国に比べて高い伸び率を見せて 2007 年現在 G7 平均(80.3 歳)とほとんど似た数値

* 平均余命:1980 年 65.8 歳→1990 年 71.3 歳→2000 年 75.9 歳→2007 年 79.0 歳(2008 年 80.1 歳)

○粗死亡率は 2007 年 6.0 人(2009 年 5.0 人)で G7 平均(9.1 人)より低い。

※粗死亡率は人口 1 千人当たりの死者数

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
平均余命(歳)	2007	79.0	74.8	80.3
粗死亡率(1千人当たり)	2007	6.0	8.5	9.1

注：韓国の平均余命は2008年80.1歳、粗死亡率は2009年5.0人(統計庁)

韓国はG20平均より清廉度は高い水準だが、他人に対する信頼と政治関心度は低い

○韓国の清廉度指数は2009年5.5点でG20平均(5.4点)より高いが、G7平均(7.3点)よりは低い。

-清廉度指数は2000年4.0点、2009年5.5点で年平均3.6%増加

* 清廉度(2000年→2009年):韓国(4.0点→5.5点)、G7平均(7.3点→7.3点)

○他人に対する信頼と政治に対する関心はG20平均より低い水準

-特に政治に関心がある人の比率は41.2%で、G20平均(46.5%)より低い。

指標	年	韓国	G20 平均	G7 平均
清廉度指数(10点満点)1)	2009	5.5	5.4	7.3
他人に対する信頼(%)2)	2006 ⁴⁾	28.2	30.3	33.8
政治に対する関心(%)3)	2006 ⁴⁾	41.2	46.5	50.9

注1) 清廉度指数は1~10点で分布し、点数が高いほど透明な社会を意味する。

注2) 他人に対する信頼は「大部分の人々を信頼することができる」という質問に同意した人々の比率である。

注3) 政治に対する関心程度を「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」と答えた人々の比率である。

注4) 中国/南アフリカ共和国/トルコ(2007年)、オーストラリア/日本/イタリア/韓国/メキシコ(2005年)、サウジアラビア(2003年)。ベルギー(1999年)

韓国の1人当たりエネルギー使用量、1人当たりCO2排出量はG7平均に近い

○韓国の1人当たりエネルギー使用量は1990年には低い水準だったが、以後急激に増加し1996年にG20平均を超え2006年にはG7平均に近づいた。

		1990	2000	2006
1人当たりエネルギー使用量(KOE)	韓国	2,178	4,030	4,483
	G7平均	4,808	5,154	5,112
	G20平均	3,235	3,567	3,716

○1人当たりCO2排出量は1990年には低かったが、1995年以後G20平均を上回って増加の傾向である。

		1990	2000	2006
1人当たりCO2排出量(トン)	韓国	5.6	9.6	9.9
	G7平均	11.5	11.6	11.3
	G20平均	7.8	8.5	8.7

所得(1人当たりGDP PPP)と社会および環境指標との関係分析

○G20の所得と社会および環境指標との関係を分析してみれば、

-所得と学業達成度、平均余命、政府の健康支出比率、清廉度指数、女性権限尺度および1人当たりCO2排出量との相関関係は0.6以上で、所得が高い国では指標の値が高く現れ、

-反面、合計特殊出生率、小学校教師1人当たり学生数は、逆の相関関係を見せ所得が高い国ほど比較的低く現れる。

○韓国の場合、所得水準に比べて合計特殊出生率は低く、

-教師1人当たり学生数が多いことで学業達成度は高く、

-政府の健康支出比率は比較的低く、女性の権限尺度も低く現れる。

統計に見る G20 と韓国（本文）

目次

I. 概要	10
II. 経済指標分析	11
1. 生産・景気	
2. 雇用・労働	
3. 金融・物価	
4. 国際収支	
5. 投資	
6. 財政・債務	
III. 社会・環境指標分析	18
1. 人口	
2. 教育	
3. 保健	
4. 社会統合	
5. 環境	
IV. 所得と社会・環境指標との関係分析	23
1. 所得と人口	
2. 所得と教育	
3. 所得と保健	
4. 所得と社会統合	
5. 所得と環境	
付表	26
1. G20 の経済・社会指標分類体系	
2. G20 国別経済・社会指標の国別数値および出所	

1. G20(Group of 20)の概要

○主要 20 カ国による G20 首脳会議は、2008 年グローバル金融危機に対応するために主要 20 カ国財務長官会合参加国の首脳が集まって構成された。

-アジア外国為替危機直後、先進国と新興国との国際協力の必要性が増大し、1999 年 G7、新興国 12 カ国、EU を含む G20 財務長官会合が開催された。

* G7:ドイツ、米国、英国、イタリア、日本、カナダ、フランス

* 新興国 12 カ国:南アフリカ、ロシア、メキシコ、ブラジル、サウジアラビア、アルゼンチン、インド、インドネシア、中国、トルコ、韓国、オーストラリア

- G20 参加国の GDP は世界の 83%を占め、非公式グローバル協議体として代表性を持つ

世界の GDP (PPP) に占める比率 (%)

区分	G20			G20 以外
		G7	G20 - G7	
1999	85.2	49.5	35.7	14.8
2009	83.2	40.8	42.4	16.8

出所:IMF, World Economic Outlook Database, October 2010

2. 資料利用時の注意点

○分析対象は G20 首脳会議に参加する 20 カ国である。

-今年開催されるソウル G20 首脳会議には G20 の 19 カ国と EU 議長国のベルギーが参加するので、これら 20 カ国を分析した。

○資料の指標別分析は、最新資料がない一部の国の場合、可能な限り最新のものを利用した。

-順位を付ける場合、脱落する国を最小化した。比較可能な国だけを対象にしたので、絶対的順位と見ることはできない。

※資料の出所と国別の数値は<付表 2>を参照

○IVで社会・環境指標との比較に使われた 1 人当たり名目 GDP (PPP) は、個別指標と同年も比較した。

○同変数を使用したグラフでは、2 つの変数全部が利用可能な国だけを使った。

1. 生産・景気

1人当たり名目 GDP (PPP) は 2 万 7,938 ドルで G20 平均 (2 万 3,165 ドル) より高い

○2009 年韓国の 1 人当たり名目 GDP は 1 万 7,074 ドルで、購買力平価で換算すれば 2 万 7,938 ドと新興国 (12 カ国) のうちオーストラリア (3 万 8,663 ドル) に続き二番目
* 1 人当たり名目 GDP (PPP) : 2000 年 1 万 6,495 ドル、2005 年 2 万 2,783 ドル、2009 年 2 万 7,938 ドル

※購買力平価 (purchasing power parity) とは、一つの国の貨幣がどこの国でも同じ購買力を持つように各国の物価水準を反映した為替レートである。

○2009 年韓国の名目 GDP は 8,325 億ドルだが、購買力平価で換算すれば 63.6% 増加して 1 兆 3,622 億ドルである。

- 購買力平価による名目 GDP が市場為替レートで評価した名目 GDP より大きいということは、韓国の物価水準が比較国より低いことを意味する。

○韓国の鉱工業生産指数は 118.9 で G20 のうち二番目の水準である

- インド (135.3) が最も高く、日本 (81.7) が最も低く、新興国が相対的に高い
- G20 平均は 98.0 で、G7 平均は 86.9

韓国と G20、G7 生産指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
名目 GDP (億ドル)	2009	8,325	22,572	20	44,023	7
名目 GDP PPP1) (億ドル)	2009	13,622	26,343	20	40,455	7
1 人当たり名目 GDP (ドル)	2009 ²⁾	17,074	22,728	20	43,372	7
1 人当たり名目 GDP PPP1) (ドル)	2009 ²⁾	27,938	23,165	20	39,896	7
実質 GDP (億ドル)	2009 ³⁾	7,528	20,308	13	35,388	7
鉱工業生産指数 4)	2009	118.9	98.0	15	86.9	7

注1) PPP は購買力平価による指標を意味する。

注2) アルゼンチン、インドネシア、イタリア、日本、韓国、南アフリカ、英国は予測値

注3) 実質 GDP は 2000 年価格、ロシアは 2008 年データ

注4) 鉱工業生産指数は 2005 年 = 100 の季節調整済指数

1人当たり名目 GDP (PPP) の年平均成長率は 6.60%と G20 で第 3 位

○1992～2009 年 1 人当たり名目 GDP の年平均成長率は 4.77%だが、購買力平価で換算すれば 6.60%と G20 平均の 4.38%より高い。

-韓国の 1 人当たり名目 GDP の年平均成長率は G20 のうち 8 位、購買力評価平価による年平均成長率は中国(11.7%)、インド(7.1%)に続き 3 位である。

○1992～2009 年名目 GDP の年平均成長率は 5.44%で G20 のうち 9 位、購買力平価で換算した年平均成長率は G20 平均(5.35%)より高い 7.28%で、中国(12.6%)、インド(8.9%)に続き 3 位である。

○G20 のうち韓国だけ 1 人当たり名目 GDP PPP と年平均成長率が G20 平均より高い。

韓国と G20、G7 生産指標の年平均成長率比較

指標	年	韓国			G20	G7
		年平均成長率	順位 1)	年平均成長率 2)	年平均成長率 2)	
名目 GDP(億ドル)	1992-2009	8,325	5.44	9	6.11	3.65
名目 GDP PPP(億ドル)	1992-2009	13,622	7.28	3	5.35	3.87
1人当たり名目 GDP (ドル)	1992-2009	17,074	4.77	8	5.14	3.12
1人当たり名目 GDP PPP (ドル)	1992-2009	27,938	6.60	3	4.38	3.34

注 1) G20 を対象にした年平均成長率の順位

注 2) G20(G7)年平均成長率は G20(G7)国家の年平均成長率の平均である。

小売販売額指数と消費者信頼指数は G20 で高い水準

○韓国の景気先行総合指数は 102.8 で、G20 平均(102.7)よりやや高く、G7 平均(103.4)より低い。

○2010 年 7 月小売販売額指数は 122.8 で、G20 平均(114.8)と G7 平均(105.5)より高い。

- G20 のうち中ドイツ(98.6)、イタリア(98.1)、米国(94.0)は 100 以下

○2010 年 7 月に消費者信頼指数は 106.5 で、G20 のうちブラジル次ぐ高さ

※消費者信頼指数(consumer confidence)は、現在と 6 ヶ月後の地域経済状況、雇用状態、家計収入などに対する展望を調査して、100 を越えれば消費者が景気を楽観するという意味である。

- G7 でイタリア(102.4)と日本(100.2)だけ 100 より高い

-消費者信頼指数が高い国は、小売販売額指数も高いことが明らか。

韓国と G20、G7 景気指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
景気先行総合指数 1)	2010. 7	102. 8	102. 7	18	103. 4	7
小売販売額指数 1)	2010. 7	122. 8	114. 8	13	105. 5	7
消費者信頼指数 2) 3)	2010. 7	106. 5	100. 7	15	99. 2	7

注1) 景気先行総合指数は long term average=100 で、小売販売額指数は 2005 年=100

注2) 消費者信頼指数は季節調整指数で normal=100 である。

注3) 日本は 2010 年 6 月、中国は 2010 年 5 月である。

2. 雇用・労働

失業率と雇用率が低く、自営業者比率は高い

○2009 年韓国の失業率は 3. 6%で、G20 のうち最低

-反面、雇用率は 63. 8%(2009 年 58. 6%)で G20 平均の 66. 0%より低い

-カナダ(73. 7%)の雇用率が最も高く、最も低いのはトルコ(44. 9%)

○2008 年の自営業者比率は 1. 482 倍(2009 年 1. 429 倍)で、G20 のうち最大

※自営業者比率(self-employment ratio)は、雇用者数(被雇用者数と自営業者数の合計)を被雇用者数で割った値

韓国と G20、G7 雇用・労働指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
失業率(%)	2009	3. 6	8. 5	18	7. 9	7
雇用率(%)	2008	63. 8	66. 0	14	68. 8	7
自営業者比率 1) (倍)	2008 ²⁾	1. 482	1. 222	11	1. 179	7

注1) 自営業者比率(self-employment ratio)は、雇用者数(被雇用者数と自営業者数の合計)を被雇用者数で割ったもので 1 より大きく、1 に近いほど自営業者数が少ないということの意味する。

注2) オーストラリアは 2006 年

※ 2009 年韓国の雇用率と自営業者比率は 58. 6%(統計庁)、1. 429(統計庁、賃金勤労者+非賃金勤労者)/賃金勤労者)

3. 金融・物価

短期政策金利は年 1.25%で新興国(12カ国)で二番目の水準

○2010年4月韓国の短期政策金利は1.25%で、G20平均(5.08%)より非常に低い

- G7で資料活用が可能な米国、カナダ、英国、日本の平均は0.50%である。

○韓国の物価水準を表わす指標はG20平均より低いが、G7平均より高い

- 2009年消費者物価指数と生産者物価指数(2005年=100)は113.2、110.9で、G20平均(119.5, 121.4)よりは低く、G7平均(107.0, 107.5)より高い

- 2009年GDPデフレーターは108.4で、G20平均の122.3より低く、G7平均の106.8より高い

韓国とG20、G7金融・物価指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
短期政策金利(年率、%)	2010. 4	1.25	5.08	16	0.50	4
消費者物価指数 1)	2009	113.2	119.5	20	107.0	7
生産者物価指数 1)	2009	110.9	121.4	18	107.5	7
GDP デフレーター 1)	2009	108.4	122.3	20	106.8	7

注1) 消費者および生産者物価指数、GDPデフレーターは2005年=100

総貯蓄率はG20平均より高いが、家計貯蓄率は低い

○2008年名目GDPに対する総貯蓄の比率は30.9%(2009年30.1%)で、G20平均(22.3%)およびG7平均(20.1%)より高い

- 反面2009年家計貯蓄率は3.6%でG20平均(7.7%)より低い

○家計貯蓄率と総貯蓄率の関係で韓国、日本、オーストラリア、カナダは類似の形態を表わす。

- 貯蓄率がG20平均より低い国は米国と英国である。

○韓国は家計貯蓄率と総貯蓄率が減少したが、家計貯蓄率の減少幅がより大きい

* 総貯蓄率:32.9%(2000) → 30.1%(2009) (-2.8%p)、家計貯蓄率:9.3%(2000) → 3.6%(2009) (-5.7%p)

- 家計貯蓄率が減少した理由は、金利低下および不動産価格急騰に伴う家計貸出し増加、雇用条件悪化による実質所得減少などが複合的に作用。

韓国と G20、G7 金融・物価指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
総貯蓄率 1) (%)	2008 ³⁾	30.9	22.3	11	20.1	7
家計貯蓄率 2) (%)	2009	3.6	7.7	10	7.8	7
	2008	2.9	6.1	10	6.5	7

注1) 総貯蓄率は名目 GDP に対する総貯蓄の比率である。

注2) 家計貯蓄率は可処分所得に対する貯蓄額の比率であり、フランスと英国の場合、総家計貯蓄率で残りの国は純家計貯蓄率であ。

注3) 日本は 2007 年

※ 2009 年韓国の総貯蓄率は 30.1% (韓国銀行)

4. 国際収支

GDP 比の貿易規模が大きく、経常収支も黒字

○2009 年 GDP に対する輸出と輸入比率は 43.4%、38.8%と貿易依存度が高く、G20 の平均輸出・輸入比率(22.6%、20.7%)より高い

-GDP に対する輸入比率は韓国が最も高く、ブラジル(8.5%)が最も低い

-輸出比率はサウジアラビア(66.0%)が最も高く、米国(7.4%)が最も低い

○2009 年 GDP に対する経常収支比率は 5.1%の黒字を記録

※経常収支は資本取引を除いた商品およびサービスと所得収支で構成

- G7 で経常収支黒字を記録した国はドイツ(5.0%)と日本(2.8%)

○外貨準備は 2,700 億ドルで、G7 平均(2,482 億ドル)水準である。

- 日本(1兆494億ドル)は G7 であるが外貨準備が非常に多く、南アフリカ(397億ドル)が最も少ない。

韓国と G20、G7 国際収支指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
輸出比率(FOB, %)	2009 ¹⁾	43.4	22.6	19	18.4	7
輸入比率(CIF, %)	2009	38.8	20.7	18	19.6	7
経常収支比率(%)	2009 ¹⁾	5.1	0.4	20	-0.4	7
外貨準備(億ドル)	2009 ²⁾	2,700	3,250	19	2,482	7

注1) 輸出比率でサウジアラビアは 2008 年データ、経常収支比率のオーストラリア、ベルギー、ロシアは 2008 年データ

注2) 外貨準備でイタリアは2008年データ

注3) 輸出比率と輸入比率、経常収支比率はGDPに対する比率である。

5. 投資

対外投資と対内投資の規模は小さい

○2009年韓国の対外投資は6,048億ドルで、G7と中国(3兆4,601億ドル)、ロシア(1兆1,092億ドル)、オーストラリア(7,030億ドル)より低い水準である。

-韓国の海外直接投資は1,156億ドルで、G7とベルギー、オーストラリア、ロシア、中国、ブラジルに比べて低い

※対外投資は直接投資と証券投資に分かれ、直接投資は直接経営に参加する目的とする株式買入れ、企業設立、戦略的提携での資金貸与などが該当する。

-G7の海外直接投資平均規模は1兆5,627億ドルで、G20平均の約2.4倍

○2009年韓国の対内投資(外国人投資)は7,528億ドルで、G7と中国(1兆6,381億ドル)、オーストラリア(1兆2,021億ドル)、ブラジル(1兆799億ドル)に比べて低い水準

-対内直接投資は1,108億ドルで、G20では低い水準である。

※対内投資は直接投資と間接投資に分かれ、直接投資は会社新設、増資、持分引受(10%以上取得して10%が5千万ウォン以上)等が該当する

-中国への対内直接投資は新興国(12カ国)中で最も多く、日本はG7だが、直接投資が相対的に少ない。

○韓国の純国際投資は1,480億ドルの赤字を記録(純国際投資=対外投資-対内投資)

-純国際投資で最大黒字国は日本、最大赤字国は米国

韓国とG20、G7投資指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
対外投資(億ドル)	2009 ¹⁾	6,048	35,788	18	81,150	7
直接投資(億ドル)	2009	1,156	6,506	20	15,627	7
対内投資(億ドル)	2009 ¹⁾	7,528	35,845	18	81,024	7
直接投資(億ドル)	2009	1,108	5,286	20	10,285	7
純国際投資 ²⁾ (億ドル)	2009 ¹⁾	-1,480	-57	18	126	7

注1) 対外投資、対内投資、純国際投資のオーストラリア、インド、南アフリカは2008年データ

注2) 純国際投資とは対外投資から対内投資を引いたもの

注3) 対外投資、対内投資、純国際投資データは国際投資対照表統計から

6. 財政・債務

財政収支が良好で政府債務も少ない

○2008年財政収支のGDP比は3.3%(2009年-1.7%)で、G7平均(-2.9%)より非常に良好

-財政黒字を記録した国は韓国とオーストラリア、カナダ、ドイツ

-財政赤字のGDP比が5%以上の国はインド、米国、英国

○2008年政府債務比率は26.8%(2009年32.0%)で、G7平均(89.7%)より非常に低い。

-オーストラリアと韓国は政府債務のGDP比率が50%未満である。

-政府債務がGDPより多い国はイタリア(114.4%)と日本(172.1%)

○対外債務は2010年第1四半期に4,098億ドルで、G7とベルギー、オーストラリア、ロシアより低い

-GDP比の短期対外債務比率は15.3%で、G20平均(37.1%)の半分である。

-ブラジルは短期対外債務が最も少ない国で、英国はGDPの2.8倍

韓国とG20、G7財政・債務指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
財政収支比率 1) (%)	2008	3.3	-2.2	12	-2.9	7
政府債務比率 1) (%)	2008	26.8	76.2	10	89.7	7
対外債務(億ドル)	2010年 1Q ²⁾	4,098	24,012	18	55,206	7
短期対外債務比率 1) (%)	2009年 4Q ³⁾	15.3	37.1	16	73.9	7

注1) 財政収支比率、政府債務比率および短期対外債務比率はGDP比

注2) 対外債務でベルギーは2009年第4半期データ

注3) 短期対外債務とは満期が1年以内の対外債務

※ 2009年韓国の財政収支比率、政府債務比率は-1.7%、32.0%(韓国銀行)

1. 人口

韓国は G20 で合計特殊出生率と人口増加率は最低水準

○韓国の人口増加率は 2008 年 0.31% (2009 年 0.29%、2010 年 0.26%) で、G7 平均 (0.53%) より低い。

-これは 2007 年合計特殊出生率が 1.26 で、G7 平均 (1.66) より非常に低いため

-合計特殊出生率は 1980 年代以後持続的に減少傾向を見せ、G7 では 1980 年代以降大きな変化なく 1.5 以上を維持

*合計特殊出生率 (韓国) : 1980 年 2.83 → 1990 年 1.59 → 2007 年 1.26 (2009 年は 1.15)

*合計特殊出生率 (G7 平均) : 1980 年 1.75 → 1990 年 1.68 → 2007 年 1.66

○65 歳以上の高齢人口比率は 2008 年 10.3% に G7 と比較してまだ低い水準

- 1990 年以降年平均 3.9% 増加し他国に比べて速い増加速度

* 高齢人口比率 : 1990 年 5.1% → 2010 年 11.0% (年平均増加率 : 3.9%)

韓国と G20、G7 人口指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
人口増加率 (%)	2008	0.31	0.86	20	0.53	7
合計特殊出生率	2007	1.26	1.95	20	1.66	7
65 歳以上の高齢人口比率 (%)	2008	10.3	12.1	18	17.4	7

注 : 韓国のデータで人口は 2009 年 48,747 千人、2010 年 48,875 千人、人口増加率は 2009 年 0.29%、2010 年 0.26%、合計特殊出生率は 2008 年 1.19、2009 年 1.15、高齢人口比率は 2009 年 10.7%、2010 年 11.0% (統計庁)

2. 教育

個人別教育水準で高等教育履修率と学業達成度は最上位圏

○高等教育履修率と学業達成度指標の場合、G7 平均より高い。

-高等教育履修率は 2007 年 34.6%、1999 年 (23.1%) 以後年平均 5.2% 増加

-学業達成度指標で数学と読取りは最も高い水準

* 学業達成度-数学 : 韓国 (547 点)、カナダ (527 点)、日本 (523 点)、オーストラリア/ベルギー (520 点)

* 学業達成度-読取り:韓国(556点)、カナダ(527点)、オーストラリア(513点)、ベルギー(501点)

○R&D支出のGDP比は2005年3.0%と高いほうであり、1991年1.8%から大きく増加した。

* 韓国のR&D支出のGDP比:1991年1.8% → 2000年2.4% → 2005年3.0%
-反面、公共教育費支出のGDP比は、2007年4.2%とG20平均の4.5%に比べて低い。

○小学校教師1人当たり学生数は、2007年25.6人でG20平均(19.5人)より多い。

-小学校教師1人当たり学生数は1999年32.2人で、低下傾向を見せるがまだ多い水準である。

* 韓国の小学校教師1人当たり学生数:1999年32.2人 → 2003年30.1人 → 2007年25.6人(2009年19.8人)

韓国とG20、G7教育指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
高等教育履修率 ¹⁾ (%)	2007	34.6	27.8	13	32.3	7
学業達成度-数学(点)	2006	547.0	469.8	16	497.3	7
学業達成度-読取り(点)	2006	556.0	466.6	15	495.3	6
学業達成度-科学(点)	2006	522.0	475.1	16	507.9	7
R&D支出のGDP比(%)	2005 ²⁾	3.0	1.7	17	2.2	7
公共教育費支出のGDP比(%)	2007 ³⁾	4.2	4.5	20	4.8	7
小学校教師1人当たり学生数(人) ⁵⁾	2007 ⁴⁾	25.6	19.5	19	15.8	7

注1) 高等教育履修率は25~65歳人口で高等教育(大学以上)を履修した人の比率

注2) ベルギー/カナダ/中国/フランス/ドイツ/ロシア/米国(2006年)、オーストラリア/ブラジル/インド(2004年)

注3) フランス/ドイツ/ロシア/インド/トルコ(2006年)、中国(1999年)

注4) アルゼンチン/英国(2006年)、インド(2004年)、カナダ(2000年)、オーストラリア(1999年)

注5) 韓国の小学校教師1人当たり学生数は2008年21.3人、2009年19.8人(韓国教育開発院)

3. 保健

韓国は G20 平均より平均余命は高く、粗死亡率も低くて健康状態は良好

○2007 年韓国の平均余命(79.0 歳)と健康寿命(71.0 歳)は、G20 平均(74.8 歳、67.2 歳)よりは高いが、G7 平均(80.3 歳才、73.0 歳)よりは若干低い。

-平均余命の場合、1980 年(65.8 歳)以後、他国に比べて高い増加率を見せ、2007 年現在 G7 平均(80.3 歳)とほとんど似た数値

* 韓国の平均余命:1980 年 65.8 歳→1990 年 71.3 歳→2000 年 75.9 歳→2007 年 79.0 歳(2008 年 80.1 歳)

※健康寿命:病気や負傷により苦痛を受ける期間を除いた、元気な人生を維持した期間を意味する。

○韓国の粗死亡率は 2007 年 6.0 人(2009 年 5.0 人)で G7 平均(9.1 人)より低い。

韓国と G20、G7 健康指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
平均余命(歳)	2007	79.0	74.8	20	80.3	7
健康寿命(歳)	2007	71.0	67.2	20	73.0	7
粗死亡率(千人当たり、人)	2007	6.0	8.5	20	9.1	7

注: 韓国の平均余命は 2008 年 80.1 歳、粗死亡率は 2009 年 5.0 人である(統計庁)

韓国の 1 万人当たりベッド数は G7 より高い水準

○韓国の 1 万人当たりベッド数は 2006 年 86 で G20 の上位圏に位置する

-反面 1 万人当たり医師数は 2003 年 16 人で、比較的低い水準である

* 韓国資料:1 万人当たりベッド数 2008 年 98、1 万人当たり医師数 2009 年 19.8 人(保健福祉部)

○政府の健康支出比率は 2007 年 54.9%と G7 平均の 73.0%に比べて非常に低く、G20 平均の 61.2%よりも低い。

- 1 人当たり総健康支出額は 2007 年 1,688 ドルで、G7 平均(3,837 ドル)の 1/3 水準

-政府の健康支出比率と 1 人当たり総健康支出額が低い水準だが、2000 年以降着実に増加傾向を見せている。

* 韓国の健康支出のうち政府の健康支出比率:2000 年 44.9% → 2007 年 54.9%

* 韓国の 1 人当たり総健康支出額:2000 年 809 ドル→ 2007 年 1,688 ドル

韓国と G20、G7 医療環境指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
1 万人当たりベッド数 3)	2000-2006 ¹⁾	86.0	49.7	18	63.1	7
1 万人当たり医師数 3)	1997-2006 ²⁾	16.0	22.1	20	27.7	7
健康支出のうち政府支出比率 (%)	2007	54.9	61.2	20	73.0	7
1 人当たり総健康支出額 (PPP ドル)	2007	1,688	2,084	20	3,837	7

注1) ベルギー/ドイツ/中国/韓国/ロシア/トルコ(2006年)、メキシコ/英国(2004年)、ブラジル(2002年)、アルゼンチン(2000年)、その他は2005年

注2) インド/日本/サウジアラビア/南アフリカ共和国(2004年)、中国/インドネシア/韓国(2003年)、オーストラリア(2001年)、ブラジル/メキシコ/米国(2000年)、アルゼンチン(1998年)、英国(1997)、その他は2006年である

注3) 韓国の1万人当たりベッド数は2007年93、2008年98で、1万人当たり医師数は2005年17.7人、2006年18.4人、2007年19.0人、2008年19.5人、2009年19.8人(保健福祉部)

4. 社会統合

韓国は G20 平均より清廉度は高い水準だが、他人に対する信頼と政治関心度は低い

○韓国の清廉度指数は2009年5.5点で、G20平均(5.4点)より高いが、G7平均(7.3点)よりは低い。

-清廉度指数は2000年4.0点、2009年5.5点で年平均3.6%増加

* 清廉度(2000年→2009年):韓国(4.0点→5.5点)、G7平均(7.3点→7.3点)

○他人に対する信頼と政治に対する関心は、G20平均より低い水準。

-特に政治に関心がある人の比率は41.2%で、G20平均(46.5%)より低い。

○高位職での男女平等程度を示す女性の権限尺度は、2009年0.55でG20平均(0.65)より低く、男女平等が低い水準であることを示している。

※女性権限尺度:女性の政治/経済活動と政策過程への参加度を測定した指数で、高いほど平等を意味する。

-議会の女性議員比率は2009年14.0%と1990年(2.0%)以降増加したが、G20平均(19.6%)に比べると低い。

* 韓国の女性議員比率:1990年2.0% → 2000年4.0% → 2009年14.0%

韓国と G20、G7 社会統合指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
清廉度指数(10点満点)1)	2009	5.5	5.4	20	7.3	7
他人に対する信頼(%)2)	2006 ⁵⁾	28.2	30.3	20	33.8	7
政治に対する関心(%)3)	2006 ⁵⁾	41.2	46.5	20	50.9	7
女性権限尺度4)	2009	0.55	0.65	19	0.76	7
議会女性議員比率(%)	2009	14.0	19.6	20	20.7	7

注1) 清廉度指数は1～10点で分布し、点数が高いほど透明な社会を意味する。

注2) 他人に対する信頼は「大部分の人々を信頼することができるか」という質問に同意した人々の比率である。

注3) 政治に対する関心程度を「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」に答えた人々の比率である。

注4) 女性の権限尺度は、女性国会議員数、行政官離職/専門技術職女性比率、男女所得差を基準として、女性の政治/経済活動と政策過程での参加度を測定して高位職での男女平等程度を評価した指数(高いほど平等)

注5) 中国/南アフリカ共和国/トルコ(2007年)、オーストラリア/日本/イタリア/韓国/メキシコ(2005年)、サウジアラビア(2003年)、ベルギー(1999年)

5. 環境

韓国の1人当たりエネルギー使用量、1人当たりCO2排出量はG7平均に近い

○韓国の1人当たりエネルギー使用量は1990年には低い水準だったが、以後急激な増加で1996年にG20平均を超えて2006年にはG7平均に近づいた。

		1990	2000	2006
1人当たりエネルギー 使用量(KOE)	韓国	2,178	4,030	4,483
	G7平均	4,808	5,154	5,112
	G20平均	3,235	3,567	3,716

○新再生エネルギー供給比率は2007年1.4%とまだ僅かな水準だが、持続的に増加している(2008年2.4%、新再生エネルギーセンター新再生エネルギー普及統計)

○緑地比率は2005年63.5%とG20およびG7平均(30.7%、34.4%)より非常に高い水準、1人当たりCO2排出量は2006年9.89トンでG20平均(8.72トン)より高い

- 1人当たりCO2排出量は1990年には低かったが、1995年以降G20平均を上

回って増加する傾向。

韓国と G20、G7 環境指標比較

指標	年	韓国	G20		G7	
			平均	比較国	平均	比較国
1人当たり1次エネルギー供給量 (TOE)	2007	4.59	3.62	18	4.94	7
1人当たりエネルギー使用量 (KOE)	2006	4,483	3,716	20	5,112	7
新再生エネルギー供給比率 (%)	2007	1.4	11.7	18	7.1	7
緑地比率 (%)	2005	63.5	30.7	20	34.4	7
1人当たりCO2排出量 (トン)	2006	9.89	8.72	20	11.32	7

注：韓国の新再生エネルギー供給比率は2008年2.4%（新再生エネルギーセンター、新再生エネルギー普及統計）

IV 所得と社会・環境指標との関係分析

1. 所得と人口

韓国は合計特殊出生率が低い国に属し、日本、イタリア、ドイツと似た状況にある

○所得（1人当たりGDP PPP）と合計特殊出生率との関係を比較した結果、所得が高い国で合計特殊出生率が比較的低い傾向を見せている。

-韓国の所得はG20平均より高いが、合計特殊出生率は非常に低く、類似の国は日本、イタリア、ドイツ

- ・ 所得↑合計特殊出生率↓：ドイツ/ベルギー/英国/イタリア/日本/カナダ/韓国/オーストラリア
- ・ 所得↑合計特殊出生率↑：米国/フランス
- ・ 所得↓合計特殊出生率↓：ロシア/ブラジル/中国
- ・ 所得↓合計特殊出生率↑：南アフリカ/メキシコ/サウジアラビア/アルゼンチン/インド/インドネシア/トルコ

2. 所得と教育

韓国の所得に対応した学業達成度（読取り）は最も高く、教師1人当たり学生数は比較的多い

- 所得(1人当たり GDP PPP)と学業達成度(読取り)と比較した結果、韓国の所得は比較国(15カ国)の平均水準で、学業達成度は最も高い。
 - 所得が比較的高い国で学業達成度が高い
 - ・所得↑学業達成度↑:ドイツ/ベルギー/英国/イタリア/日本/カナダ/フランス/韓国/オーストラリア
 - ・所得↓学業達成度↓:ロシア/メキシコ/ブラジル/アルゼンチン/インドネシア/トルコ
- 所得(1人当たり GDP PPP)と小学校教師1人当たり学生数と比較した結果、韓国の所得は比較国(19カ国)の平均より若干高いが、教師1人当たり学生数はまだ少ない。
 - ・所得↑教師1人当たり学生数↓:G7/ベルギー/オーストラリア
 - ・所得↑教師1人当たり学生数↑:韓国
 - ・所得↓教師1人当たり学生数↓:南アフリカ/ロシア/アルゼンチン/インドネシア/中国
 - ・所得↓教師1人当たり学生数↑:ブラジル/メキシコ/インド/トルコ

3. 所得と保健

韓国の平均余命は平均より高く、政府の健康支出比率は平均より低い

- 所得(1人当たり GDP PPP)と平均余命との比較結果、韓国はG7と似た状況にあって、所得と平均余命が高いグループに属している。
 - ・所得↑平均余命↑:G7/ベルギー/韓国/オーストラリア
 - ・所得↓平均余命↓:南アフリカ/ロシア/メキシコ/ブラジル/サウジアラビア/アルゼンチン/インド/インドネシア/中国/トルコ
- 所得(1人当たり GDP PPP)と政府の健康支出比率と比較した結果、韓国の所得は平均より高いが、政府の健康支出比率は平均より若干低い水準。
 - ・所得↑政府の健康支出比率↓:米国/韓国
 - ・所得↑政府の健康支出比率↑:ドイツ/ベルギー/英国/イタリア/日本/カナダ/フランス/オーストラリア
 - ・所得↓政府の健康支出比率↓:南アフリカ/ブラジル/メキシコ/アルゼンチン/インド/インドネシア/中国?所得↓政府の健康支出比率↑:ロシア/サウジアラビア/トルコ

4. 所得と社会統合

韓国の清廉度指数はG20平均以上だが、女性の権限尺度はG20平均より低い

- 所得(1人当たり GDP PPP)と清廉度指数との関係を比較した結果、韓国は所得と清廉度指数とも平均より高い国に属する。

- ・所得↑清廉度↑：ドイツ/米国/ベルギー/英国/日本/カナダ/フランス/韓国/オーストラリア
 - ・所得↑清廉度↓：サウジアラビア/イタリア
 - ・所得↓清廉度↓：南アフリカ/ロシア/メキシコ/ブラジル/アルゼンチン/インド/インドネシア/中国/トルコ
- 所得(1人当たり GDP PPP)と高位職での男女平等程度を表す女性の権限尺度と比較した結果、韓国の所得は平均水準や女性権限尺度は G20 平均より低く、G7 のなかでは日本と似ている。
- ※女性権限尺度：女性国会議員数、行政官離職/専門技術職女性比率、男女所得差を基準として女性の政治/経済活動と政策過程での参加度を測定して高位職での男女平等程度を評価した指数で高いほど平等を意味する。
- ・所得↑女性権限尺度↓：サウジアラビア/日本/韓国
 - ・所得↑女性権限尺度↑：ドイツ/米国/ベルギー/英国/イタリア/カナダ/フランス/オーストラリア
 - ・所得↓女性権限尺度↓：ロシア/メキシコ/ブラジル/インドネシア/中国/トルコ
 - ・所得↓女性権限尺度↑：南アフリカ/アルゼンチン

5. 所得と環境

韓国は所得と1人当たり CO2 排出量が G20 平均を上回って、日本、ドイツと似た状況

○韓国の所得(1人当たり GDP PPP)と1人当たり CO2 排出量は平均より若干高く、カナダ、オーストラリア、米国は所得と1人当たり CO2 排出量が非常に高い。

- ・所得↑1人当たり CO2 排出量↓：イタリア/フランス
- ・所得↑1人当たり CO2 排出量↑：ドイツ/米国/ベルギー/サウジアラビア/英国/日本/カナダ/韓国/オーストラリア
- ・所得↓1人当たり CO2 排出量↓：南アフリカ/メキシコ/ブラジル/アルゼンチン/インド/インドネシア/中国/トルコ
- ・所得↓1人当たり CO2 排出量↑：ロシア

付 表

1. G20 の経済・社会指標分類体系

大分類	中分類	該当指標
経済	生産・景気	GDP、鉱工業生産指数、景気先行総合指数、小売販売額指数、消費者信頼指数
	雇用・労働	失業率、雇用率、自営業者比率
	金融・物価	短期政策金利、消費者物価指数、生産者物価指数、GDP デフレーター、家計貯蓄率、総貯蓄率
	国際収支	輸出比率、輸入比率、経常収支比率、外貨準備
	投資	対外投資(対外直接投資)、対内投資(対内直接投資)、純国際投資
	財政・債務	財政収支比率、政府債務比率、対外債務、短期対外債務比率
社会	人口	人口、人口増加率、合計特殊出生率、65歳以上の高齢人口比率
	教育	高等教育履修率、学業達成度(数学、読取り、科学)、の R&D 支出の GDP 比、公共教育費支出の GDP 比、小学校教師 1 人当たり学生数
	保健	平均余命、健康寿命、粗死亡率、1 万人当たりベッド数、1 万人当たり医師数、健康支出のうち政府支出比率、1 人当たり総健康支出額
	社会統合	清廉度指数、他人に対する信頼、政治に対する関心、女性権限尺度、議会の女性議員比率
環境	環境	1 人当たり 1 次エネルギー供給量、1 人当たりエネルギー使用量、新再生エネルギー供給比率、緑地比率、1 人当たり CO2 排出量

2. G20 国別経済・社会指標の国別数値および出所

経済部門 生産・景気

指標	名目 GDP1)	名目 GDP PPP1)	1人当たり名目 GDP1)	1人当たり名目 GDP PPP1)	実質 GDP2)	鉱工業生産指数 3)	
単位	ドル	億ドル	ドル	ドル	億ドル	2005年 = 100	
年	2009	2009	2009	2009	2009	2009	
G7	ドイツ	33,387	28,118	40,832	34,388	19,987	93.5
	米国	141,191	141,191	45,934	45,934	113,571	92.1
	英国 2)	21,789	21,251	35,257	34,388	16,856	87.0
	イタリア 2)	21,183	17,377	35,435	29,068	11,128	83.0
	日本 2)	50,689	41,523	39,740	32,554	48,722	81.7
	カナダ	13,361	12,784	39,658	37,947	8,468	83.1
	フランス	26,564	20,940	42,413	33,434	14,728	87.6
新興国	南アフリカ	2,872	5,045	5,824	10,229	-	-
	ロシア 3)	12,319	21,161	8,681	14,034	4,295	103.4
	メキシコ	8,748	14,636	8,134	14,913	7,192	99.4
	ブラジル	15,740	20,103	8,220	10,499	-	104.1
	サウジアラビア	3,763	5,939	14,745	23,272	-	-
	アルゼンチン 2)	3,101	5,830	7,725	14,525	-	-
	インド	12,369	36,153	1,032	3,015	-	135.3
	インドネシア 2)	5,394	9,611	2,329	4,151	-	-
	中国	49,847	90,470	3,735	6,778	-	-
	トルコ	6,145	8,793	8,711	12,466	3,573	103.2
	韓国 2)	8,325	13,622	17,074	27,938	7,528	118.9
	オーストラ	9,942	8,489	45,285	38,663	5,352	104.9

	リア						
EU 議長国	ベルギー	4,721	3,831	43,794	35,534	2,608	92.9
G20 平均 1)		22,572	26,343	22,728	23,165	20,308	98.0
G7 平均 1)		44,023	40,455	39,896	35,388	33,351	86.9

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) アルゼンチン、インドネシア、イタリア、日本、韓国、南アフリカ、英国の 1 人当たり名目 GDP と英国の 1 人当たり名目 GDP (PPP) は予測値

注3) ロシアの実質 GDP は 2008 年データ

出所: 1) IMF, World Economic Outlook

2) OECD

3) OECD, Main Economic Indicators

経済部門 生産・景気

指標	名目 GDP 年平均成長率 1)	名目 GDP PPP 年平均成長率 1)	1 人当たり名目 GDP 年平均成長率 1)	1 人当たり名目 GDP PPP 年平均成長率 1)	景気先行総合指数 2)	小売販売額指数 2)	消費者信頼指数 2)	
単位	%	%	%	%	long term = 100	2005 年 = 100	Normal = 100	
年	1992-2009	1992-2009	1992-2009	1992-2009	2010.7	2010.7	2010.7	
G7	ドイツ	2.86	3.26	2.75	3.15	106.5	98.6	98.3
	米国	4.82	4.82	3.72	3.72	102.5	94.0	96.7
	英国	4.11	4.50	3.68	4.06	103.3	114.2	98.6
	イタリア	3.05	2.98	2.73	2.67	103.7	98.1	102.4
	日本 2)	1.74	2.86	1.59	2.71	102.8	102.3	100.2
	カナダ	5.04	4.89	3.97	3.82	102.9	118.1	99.3

	フランス	3.95	3.78	3.40	3.24	102.3	113.3	98.9
新興 国	南アフリ カ	4.75	5.40	3.23	3.87	101.8	123.1	104.0
	ロシア	16.98	3.55	17.31	3.84	101.9	151.7	-
	メキシコ	4.82	4.50	3.48	3.16	104.0	102.8	97.0
	ブラジル	7.98	5.32	6.51	3.88	99.4	147.8	107.5
	サウジア ラビア	6.16	4.83	3.63	2.34	-	-	-
	アルゼン チン	1.80	5.47	0.71	4.34	-	-	-
	インド	8.87	8.91	7.03	7.08	100.6	-	-
	インドネ シア	7.70	6.42	6.32	5.05	100.9	-	102.3
	中国 2)	14.64	12.60	13.77	11.74	102.1	-	99.2
	トルコ	6.41	5.93	4.82	4.34	103.4	-	98.1
	韓国 2)	5.44	7.28	4.77	6.60	102.8	122.8	106.5
	オースト ラリア	6.86	5.70	5.48	4.33	103.0	-	101.8
EU 議長 国	ベルギー	4.27	4.06	3.85	3.63	104.0	104.9	-
G20 平均 1)		6.11	5.35	5.14	4.38	102.7	114.8	100.7
G7 平均 1)		3.65	3.87	3.12	3.34	103.4	105.5	99.2

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) 日本の消費者信頼指数は 2010 年 6 月、中国の消費者信頼指数は 2010 年 5 月のデータ

出所: 1) IMF, World Economic Outlook

2) OECD

経済部門 雇用・労働/金融・物価

指標		失業率 1)	雇用率 2)	自営業比率 2)	短期政策金利 3)	消費者物価指数 3)	生産者物価指数 3)	GDP デフレーター 3)	家計貯蓄率 2)	総貯蓄率 2)
単位		%	%	倍	%	2005年=100	2005年=100	2005年=100	%	%
年		2009	2008	2008	2010.4	2009	2009	2009	2009	2008
G7	ドイツ	7.5	70.2	1.187	-	106.6	108.0	104.7	11.3	25.8
	米国	9.3	70.9	1.073	0.75	109.2	109.9	109.6	4.3	12.1
	英国	7.6	72.7	1.153	0.46	111.2	113.9	110.7	7.0	15.4
	イタリア	7.8	58.7	1.449	-	108.4	109.2	109.6	8.4	18.0
	日本 2)	5.0	70.7	1.141	0.30	99.7	103.0	96.6	2.3	27.0
	カナダ	8.3	73.7	1.102	0.50	106.8	104.8	107.9	5.0	23.7
	フランス	9.5	64.6	1.152	-	106.9	104.1	108.2	16.3	18.9
新興国	南アフリカ	23.9	-	-	6.50	134.2	136.6	136.0	-	-
	ロシア	8.4	68.8	-	8.25	150.4	144.5	159.0	-	-
	メキシコ	5.5	61.3	1.365	4.94	119.0	124.7	124.2	-	25.4
	ブラジル	8.1	68.3	-	15.25	119.0	120.7	126.5	-	-
	サウジアラビア	-	-	-	0.32	124.5	113.0	108.0	-	-
	アルゼンチン	8.7	-	-	8.53	137.6	149.0	169.8	-	-
	インド	-	-	-	6.00	142.0	122.4	123.0	-	-
	インドネシア	8.0	-	-	6.20	128.3	165.8	162.7	-	-
	中国	4.3	-	-	2.79	112.3	-	119.7	-	-
	トルコ	14.0	44.9	-	15.00	139.3	132.6	136.8	-	-
韓国 3)	3.6	63.8	1.482	1.25	113.2	110.9	108.4	3.6	30.9	

	オーストラ リア 2)	5.6	73.2	1.149	4.22	112.5	113.1	116.9	4.3	23.7
EU 議 長国	ベルギー	8.0	62.0	1.192	-	108.1	-	107.9	15.0	24.2
G20 平均 1)		8.5	66.0	1.222	5.08	119.5	121.4	122.3	7.7	22.3
G7 平均 1)		7.9	68.8	1.179	0.50	107.0	107.5	106.8	7.8	20.1

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) オーストラリアの自営業者比率は 2006 年、日本の総貯蓄率資料は 2007 年

注3) 韓国の 2009 年雇用率、自営業者比率、総貯蓄率は 58.6%(統計庁)、1.429 倍(統計庁、賃金勤労者+非賃金勤労者/賃金勤労者)、30.1%(韓国銀行)

出所: 1) IMF, Principal Global Indicator

2) OECD

3) IMF

経済部門 国際収支/投資

指標		輸出 比率 1)	輸入 比率 1)	経常収 支比率 2)	外貨準備 3)	対外投資 3)	対外直 接投資 4)	純国際 投資 3)
単位		FOB, %	CIF, %	%	億ドル	億ドル	億ドル	億ドル
年		2009	2009	2009	2009	2009	2009	2009
G7	ドイツ	33.6	28.0	5.0	1,809	73,205	13,785	12,703
	米国	7.4	11.3	-2.7	1,312	183,791	43,029	-27,378
	英国	16.3	22.2	-1.3	833	140,554	16,517	-4,718
	イタリア	19.1	19.5	-3.1	1,053	28,502	5,781	-4,342
	日本	11.4	10.8	2.8	10,494	60,268	7,409	28,918
	カナダ	23.4	24.6	-1.7	544	13,571	5,669	-1,140
	フランス	17.8	20.9	-2.0	1,331	68,159	17,197	-3,159
新興 国	南アフリカ 3)	21.7	25.4	-3.9	397	1,811	643	-107
	ロシア 2)	24.4	-	6.1	4,395	11,092	2,489	1,184
	メキシコ	26.2	28.1	-0.6	999	2,390	535	-3,529

	ブラジル	9.7	8.5	-1.5	2,385	4,792	1,577	-6,007
	サウジアラ ビア 2)	66.0	24.3	6.2	4,101	-	403	-
	アルゼンチ ン	18.2	13.5	2.9	480	2,254	294	562
	インド 3)	12.7	19.4	-2.8	2,835	3,394	772	-809
	インドネシ ア	22.1	17.2	2.0	661	981	302	-2,184
	中国	24.5	20.5	6.1	24,259	34,601	3,396	18,219
	トルコ	16.6	22.9	-2.3	748	1,749	148	-2,767
	韓国	43.4	38.8	5.1	2,700	6,048	1,156	-1,480
	オーストラ リア 2) 3)	15.6	16.6	-4.6	417	7,030	3,436	-4,991
EU 議 長 国	ベルギー 2)	-	-	-2.5	-	-	6,690	-
	G20 平均 1)	22.6	20.7	0.4	3,250	35,788	6,506	-57
	G7 平均 1)	18.4	19.6	-0.4	2,482	81,150	15,627	126

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用、輸出比率、輸入比率と経常収支比率は GDP に対する比率

注2) サウジアラビアの輸出比率は 2008 年、オーストラリア、ベルギー、ロシアの経常収支比率は 2008 年

注3) オーストラリア、インド、南アフリカ共和国の対外投資、対内投資、純国際投資は 2008 年

出所： 1) IMF, International Financial Statistics

2) OECD, Principal Global Indicator

3) OECD, Principal Global Indicator

4) UNCTAD

経済部門 投資/財政・債務

指標		対内投資 4)	対内直接投資 1)	財政収支比率 2)	政府債務比率 2)	対外債務 3)	短期対外債務比率 4)
単位		億ドル	億ドル	%	%	億ドル	%
年		2009	2009	2008	2008	2010年1Q	2009年4Q
G7	ドイツ	60,502	7,016	0.0	68.8	49,692	47.3
	米国	211,169	31,206	-6.5	70.0	139,174	34.8
	英国	145,272	11,251	-5.3	56.8	91,230	278.3
	イタリア	32,845	3,940	-2.7	114.4	24,568	32.0
	日本	31,349	2,001	-2.7	172.1	20,390	26.3
	カナダ	14,711	5,249	0.1	69.7	10,155	22.3
	フランス	71,318	11,330	-3.4	75.7	51,235	76.4
新興国	南アフリカ	1,918	1,251	-	-	813	6.4
	ロシア	9,908	2,525	-	-	4,699	-
	メキシコ	5,919	3,095	-	-	2,058	2.7
	ブラジル	10,799	4,008	-2.0	-	2,930	1.6
	サウジアラビア	-	1,471	-	-	-	-
	アルゼンチン	1,692	810	-	-	1,180	8.9
	インド	4,203	1,640	-7.3	-	2,615	3.0
	インドネシア	3,165	728	-	-	1,808	3.9
	中国	16,381	4,731	-	-	-	-
	トルコ	4,517	777	-	-	2,666	7.7
	韓国 3)	7,528	1,108	3.3	26.8	4,098	15.3
	オーストラリア	12,021	3,281	1.0	14.3	10,373	26.4
EU 議長国	ベルギー 2)	-	8,301	-1.2	93.5	12,525	-

G20 平均 1)	35,845	5,286	-2.2	76.2	24,012	37.1
G7 平均 1)	81,024	10,285	-2.9	89.7	55,206	73.9

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用、財政収支比率、政府債務比率と短期対外債務比率は GDP に対する比率

注2) ベルギーの対外債務は 2009 年第 4 四半期

注3) 韓国の 2009 年財政収支比率と政府債務比率は -1.7% (韓国銀行)、32.0% (韓国銀行)

出所: 1) UNCTAD

2) OECD, Eurostat

3) Joint External Debt Hub (JEDH)

4) Principal Global Indicator

社会部門 人口

指標		人口 1)	人口増加率 1)	合計特殊出生率 1)	老齢人口比率 2)
単位		千人	%		%
年		2008	2008	2007	2008
G7	ドイツ	82,140	-0.16	1.39	20.1
	米国	304,060	0.92	2.10	12.7
	英国	61,399	0.65	1.90	16.2
	イタリア	59,855	0.81	1.34	20.3
	日本	127,704	-0.05	1.34	22.1
	カナダ	33,311	1.01	1.59	13.6
	フランス	62,048	0.55	1.96	16.5
新興国	南アフリカ	48,687	1.73	2.69	4.6
	ロシア	141,800	-0.21	1.41	13.1
	メキシコ	106,350	1.01	2.13	5.6
	ブラジル	191,972	0.97	1.90	6.5
	サウジアラビア	24,646	2.00	3.35	-

	アルゼンチン	39,876	0.94	2.25	-
	インド	1,139,965	1.34	2.68	5.2
	インドネシア	228,249	1.15	2.18	5.9
	中国	1,325,640	0.55	1.73	8.0
	トルコ	73,914	1.24	2.13	6.1
	韓国 2)	48,607	0.31	1.26	10.3
	オーストラリア	21,374	1.69	1.93	13.7
EU 議長国	ベルギー	10,704	0.73	1.81	17.1
G20 平均 1)		206,615	0.86	1.95	12.1
G7 平均 1)		104,360	0.53	1.66	17.4

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) 人口 2009 年 48,747 千人、2010 年 48,875 千人(統計庁、推計人口)、人口増加率は 2009 年 0.29%、2010 年 0.26%(統計庁、推計人口)、合計特殊出生率 2008 年 1.19、2009 年 1.15(統計庁、人口統計)、高齢人口比率 2009 年 10.7%、2010 年 11.0%(統計庁推計人口)

出所：1) The World Bank, World Development Indicators

2) OECD, Factbook

社会部門 教育

指標	高等教育履修率 1)	学業達成度-数学 2)	学業達成度-読取り 2)	学業達成度-科学 2)	R&D 支出の GDP 比 3)	公共教育費支出の GDP 比 4)	小学校教師 1 人当たり学生数 4)	
		点	点	点				
単位	%	点	点	点	%	%	人	
年	2007	2006	2006	2006	2005 ⁱⁱ⁾	2007 ⁱⁱⁱ⁾	2007 ^{iv)}	
G7	ドイツ	24.3	504.0	495.0	516.0	2.5	4.4	13.6
	米国	40.3	474.0	-	489.0	2.6	5.5	13.8
	英国	31.8	495.0	495.0	515.0	1.8	5.6	18.1

	イタリア	13.6	462.0	469.0	475.0	1.1	4.3	10.3
	日本	41.0	523.0	498.0	531.0	3.3	3.4	18.5
	カナダ	48.3	527.0	527.0	534.0	2.0	4.9	17.4
	フランス	26.8	496.0	488.0	495.0	2.1	5.6	19.0
新興 国	南アフリ カ	-	-	-	-	0.9	5.3	31.0
	ロシア	-	476.0	440.0	479.0	1.1	3.9	17.1
	メキシコ	14.9	406.0	410.0	410.0	0.5	4.8	28.0
	ブラジル	9.6	370.0	393.0	390.0	0.9	5.2	23.9
	サウジア ラビア	-	-	-	-	-	6.4	11.2
	アルゼン チン	-	381.0	374.0	391.0	-	4.9	16.3
	インド	-	-	-	-	0.7	3.2	40.2
	インドネ シア	-	391.0	393.0	393.0	-	3.5	18.8
	中国	-	-	-	-	1.4	1.9	17.7
	トルコ	10.8	424.0	447.0	424.0	0.8	2.9	-
	韓国 5)	34.6	547.0	556.0	522.0	3.0	4.2	25.6
	オースト ラリア	33.7	520.0	513.0	527.0	1.8	4.7	17.9
EU 議 長国	ベルギー	32.1	520.0	501.0	510.0	1.9	6.1	11.2
G20 平均 1)		27.8	469.8	466.6	475.1	1.7	4.5	19.5
G7 平均 1)		32.3	497.3	495.3	507.9	2.2	4.8	15.8

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) R&D 支出の GDP 比でベルギー/カナダ/中国/フランス/ドイツ/ロシア/米国は 2006 年、オーストラリア/ブラジル/インドは 2004 年

注3) 公共教育費支出の GDP 比でフランス/ドイツ/ロシア/インド/トルコは 2006 年、中国は 1999 年

注4) 小学校教師1人当たり学生数でアルゼンチン/英国は2006年、インド2004年、カナダ2000年、オーストラリア1999年

注5) 小学校教師1人当たり学生数は2008年21.3人、2009年19.8人(韓国教育開発院、教育統計分析資料集)

出所: 1) OECD, Education at a Glance

2) OECD, Program for International Student Assessment

3) OECD, Factbook

4) UNESCO, UIS Data Centre

社会部門 保健

指標	平均余命 1)	健康寿命 2)	粗死亡率 3)	1万人当たりベット数 4)	1万人当たり医師数 4)	健康支出で政府支出比率 2)	1人当たり総健康支出額 2)	
単位	歳	歳	千人当たり	床	人	%	PPPドル	
年	2007	2007	2007	2000-2006 ii)	1997-2006 iii)	2007	2007	
G7	ドイツ	79.7	73.0	11.0	83.0	34.0	76.9	3,588
	米国	78.0	70.0	8.0	32.0	26.0	45.5	7,285
	英国	79.3	72.0	10.0	39.0	23.0	81.7	2,992
	イタリア	81.3	74.0	10.0	40.0	37.0	76.5	2,686
	日本	82.5	76.0	9.0	141.0	21.0	81.3	2,696
	カナダ	80.6	73.0	7.0	34.0	19.0	70.0	3,900
	フランス	81.0	73.0	9.0	73.0	34.0	79.0	3,709
新興国	南アフリカ	50.5	48.0	17.0	28.0	8.0	41.4	819
	ロシア	67.6	60.0	16.0	97.0	43.0	64.2	797
	メキシコ	74.9	67.0	5.0	10.0	20.0	45.4	819
	ブラジル	72.3	64.0	6.0	26.0	12.0	41.6	837
	サウジアラビア	73.0	62.0	4.0	23.0	14.0	79.5	768
	アルゼンチ	75.2	67.0	8.0	41.0	30.0	50.8	1,322

	ン							
	インド	64.7	56.0	8.0	-	6.0	26.2	109
	インドネシア	70.6	60.0	6.0	-	1.0	54.5	81
	中国	73.0	66.0	7.0	22.0	14.0	44.7	233
	トルコ	71.8	66.0	6.0	27.0	16.0	69.0	677
	韓国 4)	79.0	71.0	6.0	86.0	16.0	54.9	1,688
	オーストラリア	81.3	74.0	7.0	40.0	25.0	67.5	3,357
EU 議長国	ベルギー	80.2	72.0	10.0	53.0	42.0	74.1	3,323
G20 平均 1)		74.8	67.2	8.5	49.7	22.1	61.2	2,084
G7 平均 1)		80.3	73.0	9.1	63.1	27.7	73.0	3,837

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) 1万人当たりベッド数でベルギー/ドイツ/中国/韓国/ロシア/トルコは2006年、メキシコ/英国2004年、ブラジル2002年、アルゼンチンは2000年、その他は2005年である。

注3) 1万人当たり医師数でインド/日本/サウジアラビア/南アフリカ共和国は2004年、中国/インドネシア/韓国は2003年、オーストラリア2001年、ブラジル/メキシコ/米国2000年、アルゼンチン1998年、英国1997年、その他国家は2006年

注4) 韓国の平均余命は2008年80.1歳(統計庁、生命表)、粗組死亡率は2009年5.0人(統計庁、人口統計)、1万人当たりベッド数は2007年93、2008年98(保健福祉部)、1万人当たり医師数は2005年17.7人、2006年18.4人、2007年19.0人、2008年19.5人、2009年19.8人である(保健福祉部)

出所: 1) The World Bank, World Development Indicators

2) WHO, World Health Statistics, 2010

3) UNICEF, The State of the World's Children

4) WHO Data

社会部門 社会統合

指標		清廉度 指数 1)	他人に対す る信頼 2)	政治に対 する関心 2)	女性権限 尺度 3)	議会女性 議員比率 4)
単位		10 点満点	%	%	指数	%
年		2009	2006 ⁱⁱ⁾	2006 ⁱⁱ⁾	2009	2009
G7	ドイツ	8.0	36.8	61.8	0.85	31
	米国	7.5	30.5	44.1	0.77	17
	英国	7.7	39.3	59.1	0.79	20
	イタリア	4.3	29.2	37.4	0.74	20
	日本	7.7	39.1	64.3	0.57	12
	カナダ	8.7	42.8	52.6	0.83	25
	フランス	6.9	18.8	36.9	0.78	20
新興国	南アフリカ	4.7	18.8	44.3	0.69	34
	ロシア	2.2	26.2	38.9	0.56	11
	メキシコ	3.3	15.6	33.7	0.63	22
	ブラジル	3.7	9.4	48.9	0.50	9
	サウジアラビ ア	4.3	53.0	65.9	0.30	0
	アルゼンチン	2.9	17.6	21.9	0.70	40
	インド	3.4	23.3	43.6	-	9
	インドネシア	2.8	42.5	36.1	0.41	12
	中国	3.6	52.3	64.5	0.53	21
	トルコ	4.4	4.9	38.6	0.38	9
	韓国	5.5	28.2	41.2	0.55	14
	オーストラリ ア	8.7	46.1	57.7	0.87	30
EU 議 長国	ベルギー	7.1	30.7	38.9	0.87	36

G20 平均 1)	5.4	30.3	46.5	0.65	19.6
G7 平均 1)	7.3	33.8	50.9	0.76	20.7

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) 他人に対する信頼と政治に対する関心度の場合、中国/南アフリカ共和国/トルコは 2007 年、オーストラリア/日本/イタリア/韓国/メキシコは 2005 年、サウジアラビア 2003 年、ベルギーは 1999 年

出所: 1) Transparency Internationa

2) World Value Survey (World Value Survey Association:

3) UNDP

4) The World Bank, Gender Statistics

環境部門

指標		1人当たり 1次エネルギー供給量 1)	1人当たりエ ネルギー使用 量 2)	新再生エネ ルギー供給 比率 1)	緑地 比率 3)	1人当たり CO2 排出量 3)
単位		TOE	KOE	%	%	トン
年		2007	2006	2007	2005	2006
G7	ドイツ	4.03	4,231	8.6	31.7	9.74
	米国	7.75	7,778	5.0	33.1	18.99
	英国	3.48	3,814	2.4	11.8	9.40
	イタリア	3.00	3,125	7.2	33.9	8.06
	日本	4.02	4,129	3.4	68.2	10.11
	カナダ	8.17	8,262	16.2	33.6	16.72
	フランス	4.15	4,444	7.2	28.3	6.24
新興国	南アフリカ	2.82	2,739	10.3	7.6	8.59
	ロシア	4.75	4,745	3.3	47.9	10.92
	メキシコ	1.74	1,702	9.3	33.7	4.14
	ブラジル	1.23	1,191	44.4	57.2	1.86
	サウジアラ ビア	-	6,170	-	1.3	15.78

	アルゼンチン	-	1,766	-	12.1	4.43
	インド	0.53	510	29.2	22.8	1.31
	インドネシア	0.84	803	31.2	48.8	1.46
	中国	1.48	1,433	12.3	21.2	4.62
	トルコ	1.35	1,304	9.6	13.2	3.65
	韓国 2)	4.59	4,483	1.4	63.5	9.89
	オーストラリア	5.87	5,917	5.6	21.3	18.12
EU 議長国	ベルギー	5.37	5,782	3.8	22.0	10.28
G20 平均 1)		3.62	3,716	11.7	30.7	8.72
G7 平均 1)		4.94	5,112	7.1	34.4	11.32

注1) G7 および G20 平均は現在可能な資料を活用

注2) 再生エネルギー供給比率は2008年2.4%(再生エネルギーセンター、再生エネルギー普及統計)

出所: 1) OECD, Factbook

2) The World Bank, World Development Indicators

3) UNSD, Millennium Development Goals Database